

（公共交通の確保）

- ・低炭素社会の構築や高齢社会への対応を図るため、公共交通ネットワーク（バス、鉄道、船舶）の再構築を図る必要があります。
- ・離島の市民生活を支える船舶について、航路維持と利便性の向上が必要です。

（3）市街地・住環境にかかる課題

（中心市街地の整備）

- ・中心市街地において、観光客にとっての魅力とにぎわいのある市街地環境と、市民生活の場としての居住環境との調和を図る必要があります。
- ・アンケート調査では、中心市街地において駐車場、商業施設、観光施設の順で整備の必要性が高い結果になっており、これらを踏まえて、観光客の受け皿としての中心市街地の適切な整備が必要です。
- ・高齢者や親子連れでも安心して利用できる商業空間を形成し、観光客に親しまれ、かつ地域社会に密着したにぎわいのある商店街づくりが必要です。



（市街地・集落地の整備）

- ・老朽木造建物が密集した市街地や農漁村集落地について、建物の耐震化・不燃化の促進や密集市街地の改善、狭あい道路の整備などにより居住環境の向上を図る必要があります。
- ・あわせて、特徴あるたたずまいをみせる集落地について防災性能を高めながら良好な集落地景観等を保全していく必要があります。

（公営住宅の活用）

- ・低所得者等への公平かつ的確な住宅の支援、子育て世代に向けた住宅の確保、高齢単身者が安全に生活できる住宅の供給など、本市のさまざまな課題に対して戦略的な公営住宅の活用を検討する必要があります。
- ・高齢者や障害者に配慮したユニバーサルデザインの考えを取り入れた対策、老朽化の著しい市営住宅の建て替えや改善など、既存の公営住宅について時代の要請に即した供給のあり方を検討する必要があります。

(4) 自然環境の保全、景観形成、公園・緑地の課題

(自然環境の保全)

- ・ 海域、海岸線、起伏が多い地形、棚田などは本市の特徴となっています。自然環境や田園環境については、本市の個性と魅力の資源としてその保全を図り、将来へ継承していくことが重要です。
- ・ 近年増加している耕作放棄地や、間伐など人の手の入らない放置山林など自然資源の荒廃化に対しては、その対策を講ずることが求められています。同時に水資源に乏しい本市にあっては、貴重な水資源として水源涵養機能を有する山林を保全していく必要があります。

(景観の形成)

- ・ 「平戸市景観計画」に定められた“重点景観計画区域”、“景観重要公共施設”などの整備・保全の方針に沿って、良好な景観の保全、形成を図る必要があります。
- ・ 幹線道路沿いや中心市街地における屋外広告物について、今後の自主条例制定を視野に入れたきめ細やかな規制誘導を検討することが必要です。
- ・ 良質な景観の形成には市民の積極的かつ日常的な取り組みが必要であり、その受け皿となる協働の体制づくりが必要です。

(公園・緑地の整備)

- ・ アンケート調査においては公園に対する不満が高く、日常的な憩いの場や家族連れに対応できる公園など、利用ニーズに対応した公園や広場の充実が必要です。
- ・ 自然公園や都市公園、史跡などの利用を促進していくため、観光の拠点や住民のレクリエーション拠点としての有効活用を図る必要があります。
- ・ 市街地や集落地における空き地を公園・広場として整備するなど、地域住民や観光客の憩いの場、防災活動の拠点となる空間を確保する必要があります。

